

令和五年度 東京純心大学 看護学部 看護学科

一般選抜試験（第三回）【国語】試験問題

試験時間 60分 問題は1～6ページ

注意事項

- ・ 解答は、解答用紙に記入すること。
- ・ 問題用紙は、試験終了後に回収する。

受験番号

令和5年3月12日

① 次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。

※問題文については、朝日新聞社に無断で転載することを禁じます。

春は人事異動の季節だ。人事の裏には、成果に基づく評価が見え隠れする。

S、A、B、C、Dなどのランクづけを採り入れている企業は多いが、ここ数年、こうした評価制度を①ハイシするところが増えてきた。米国のIT企業から始まった動きで、評価が本人の成長や企業の業績に結びついていない、と気づいたからだという。

歴史学者ジェリー・Z・ミユラーは著書「測りすぎ」で、こう指摘している。あるゴールを達成するために数値目標が設定され、その結果が成果主義に利用されると、その組織は機能不全に②陥ると。人は、ゴールを達成するためではなく、数字を達成するために行動するようになるからだ。

\*

たとえば、研究者は記者と同様、「Publish or Perish（書かずんば去れ）」という厳しい世界に生きる。研究者の多くは、研究成果を論文として社に還元したいと思っている。でもその質や数が、ポストや研究費を獲得するための指標として使われると、ややこしいことになる。

質を測るには、その論文がほかの論文に引用される「被引用数」が指標となることが多い。ただし引用されやすい研究分野を選んだり、仲間内で引用しあったりすれば、統計上の評価は高まる。ツイッターのリツイートと同じだ。

数を増やすには、中身を少し変えた論文を量産すればいい。

③机上の空論だと思うかもしれない。でも英科学誌ネイチャーによると、2000～16年に、5日に1本のペースで論文を書いた「超多作」研究者が少なくとも265人いた。日本とドイツに多く、ナンバー1は日本のとある国立大教授だったという。

論文をめぐる指標は研究者だけでなく、大学の評価にもつかわれている。

国は19年度から、国立大学の運営費④コウフ金の一部を、成果や実績によって配分している。研究に力を入れている大学の場合、教員1人あたりの論文数や、被引用数が各分野の上位10%以内に入る論文数などが評価の指標となっている。

この政策により、何が起きているのか。

「論文の数を増やすと質は下がるといふ」⑤シーソーゲームが起きています。また、引用されやすい国際共著論文が増える一方で、国内発の論

文が減っています。必ずしも研究力向上にはつながっていません」

日本の研究力を分析している鈴鹿医療科学大学の豊田長康学長はこう指摘する。

\*

さらなる成果主義の③タンジヨウにつながるような動きも進む。10兆円規模のファンドの運用益をもとに、一部の研究大学に年数百億円を支援する法案が、今国会で成立する見通しだ。ただし支援を受けた大学は、「年3%の事業成長」が求められる。

今でも大学の研究が、短期間で成果が出る内容に(イ)偏りつつあるという指摘がある。新たな指標が、さらに「稼げる」研究へと向かう可能性はないだろうか。

実は、私が成果主義の(ウ)弊害として一番危惧しているのは、研究者のやる気を失わせてしまうことだ。

「統計データの落とし穴」の著者ピーター・シュライバーもこう指摘する。お金のためにその仕事をしようと思っていない人にとって、業績指標は、かえって意欲を損なう可能性がある、と。

研究者が研究に④ポットウするのは、「なぜ、そうなのか」という真理を探究したいからであって、指標を達成するためではない。それに、研究の新規性や独創性を正しく評価できる指標は、今のところない。

ポストや研究費を獲得するための書類作成に⑤ボウサツされ、研究時間が取れないという怨嗟えんさの声をあちこちで聞く。「測りすぎ」が、生産性の低下につながっているのだ。

成果主義が本当に日本の研究力向上につながっているのか。国にはぜひそのあたりを、測ってほしい。

(出典 岡崎明子 著「成果主義と研究力「測りすぎ」が意欲を奪う」『朝日新聞』二〇二二年三月二三日)による)

設問一 傍線部①～⑤のカタカナを漢字に直し、(ア)～(ウ)の漢字の読みをひらがなで書きなさい。(送りがなを記す必要はない。)

- ① ハイシ                      ② コウフ                      ③ タンジヨウ                      ④ ポットウ                      ⑤ ボウサツ

- (ア) 陥(る)                      (イ) 偏(り)                      (ウ) 弊害

設問二 傍線部 (A)・(B) はいずれも、辞書に掲載されているような本来の意味とは少し異なる用法で使用されている。それぞれ、(I) と (III) には本来の辞書的な意味を適宜記しなさい。また (II) と (IV) にはそれぞれ、本文での使われ方を、適宜記しなさい。

(A) 「机上の空論」の本来の意味は、(I) ということである。しかし、ここでは、信じられないかもしれないが

(II) という事態が実際に起きている、という意味で使われている。

(B) 「シューティングゲーム」の本来の意味は、(III) ということである。しかし、ここでは、遊具の両端が上下するように

(IV) という状態を示している。

設問三 筆者は、本来の望ましい研究の姿はどのようなものだととらえていると考えられるか。本文を参考にして、「研究者」「意欲」「還元」という語をそれぞれ用いて、わかりやすくまとめなさい。なお、それぞれの語を用いた個所には傍線を引くこと。

二 次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。

小説家は人間や社会に強い関心をもち、それなりに観察もしているけれども、しよせんはフィクションをつむぐ仕事だからか、折々に考えたり、発見したりしたことを自身の実人生に生かそうという発想は (ア) 乏しい生きものかもしれない。しかも (A) 往々にして、一般の生活者に見えていることが見えていなかったり、いまだき知っていて当たり前のことを知らなかったり、はたまた ちまた 巷の話題に (イ) 疎かたりもする。小説家は、意外に浮世離れしているのだ。

そうして自身の暮らしと切り離された頭で、小説家は日々①カクウの物語をつむぎながら、人間について、生死について、あるいは社会について思いめぐらせている。たとえば私はいま、山間の集落の名もない平凡な農家の暮らしを小説にしているところだが、描いているのは米づくりのリアルな技術や稲の成長の話であつても、私の頭には植物としての稲の光合成や、そのためのエネルギーをもたらす太陽光や、ひいては宇宙のことが広がっていたりする。あるいは、すでに古稀こきを過ぎている主人公の心身を借りて、老いとは何かと壮大な②ジモンジモンをしていることもある。

つまり、日常のさまざまな農事や山の自然は、主人公Aの生に実体を与えると同時に、Aが日々ものを思う土台になっており、Aはものを思うことで自身の世界を③カクチョウカクチョウし続けるのである。米農家であれば米づくりのあれこれにこころを砕くだけで十分ではないかという意見もあるだろうが、小説家の私は、それだけではつまらないと思う。自然とともに生きる人間は、自然を通してながしかの生命観や宇宙観、信仰、さらには美などを発見するはずだし、④コライコライ人間はそうしてさまざまな生活風土と文化を (ウ) 築いてきたからである。

(B) ひるがえって、私たちはいつのころからか、生命や社会や人生について抽象的な思考をしなくなったのではないだろうか。「人間とは」と言い出すだけで「ドン引き」されるいまの時代、もてはやされるのは日常の小さな仕合わせや、ささやかな暮らしの風景や、心温まる小さな生きものたちの物語などである。そこでは、人間の一生は日々の暮らしの送り方や、手づくりのご飯や、食卓に生けた一輪の花などに還元される。もつと言えば、個々人の生活感覚や価値観へと矮小化わいしょうされる。

それはそれで人間が生きることの一面ではあるし、軽んじていいとも思わないが、それだけで事足りるかと言えば、そうではないだろうと思うのだ。たとえば、「人間とは」を考える言葉が失われたところでは、「人間らしさ」を考えることもできない。「人間らしさ」を考えることができないところでは、貧困や難民について深く考えることもできない。こうして多くの深刻な問題が、私たちの関心の外に放り出されているのである。

今日、私たちはネットを通して自分に必要な情報を必要なだけ入手するようになった。そうして個々に興味のある情報だけを効率的に収集するこ

とで、個人や仲間内の関心事だけで満たされた快適な暮らしが出来上がるが、それは(Ⅰ)抽象的な思考や公共への関心とは無縁の暮らしと言える。もつとも、社会や他者への無関心と引き換えに、足もとの小さな仕合わせがやたらにクローズアップされる今日の⑤フウチョウは、私たちの隠れた不安を映しているのかもしれない。老いも若きも、明るい未来を思い描くことができないうえの、足もとの仕合わせ探しかもしれない。かくして「生きるとは」「人間とは」などと哲学するより、猫でも眺めて癒やされたいというのがいまの時代であれば、(Ⅱ)なるほど、小説が売れないはずである。

(出典 高村薫 著「抽象的な思考はどこへ」『毎日新聞』二〇一六年三月二三日)による)

設問一 傍線部①～⑤のカタカナを漢字に直し、(ア)～(ウ)の漢字の読みをひらがなで書きなさい。(送りがないを記す必要はない。)

- |     |       |     |        |     |       |   |     |   |       |
|-----|-------|-----|--------|-----|-------|---|-----|---|-------|
| ①   | カクウ   | ②   | ジモン    | ③   | カクチョウ | ④ | コライ | ⑤ | フウチョウ |
| (ア) | 乏(しい) | (イ) | 疎(かった) | (ウ) | 築(いて) |   |     |   |       |

設問二 二重傍線部(A)・(B)の言葉の意味を簡潔に記しなさい。

- |     |       |     |        |
|-----|-------|-----|--------|
| (A) | 往々にして | (B) | ひるがえって |
|-----|-------|-----|--------|

設問三 傍線部(Ⅰ)について、「抽象的な思考」と「公共への関心」にそれぞれ該当する部分を、指定された字数で本文中から抜き出しなさい。

なお、句読点も一字と数える。

「抽象的な思考」…35字以内

「公共への関心」…15字以内

設問四 傍線部(Ⅱ)について、なぜ、筆者は「なるほど、小説が売れないはずである」と述べていると考えられるか。本文を参考にして、「登場人物」「抽象的な思考」「無関心」の語をいずれも使用し、わかりやすくまとめなさい。なお、それぞれの語を用いた箇所には傍線を引くこと。